

Day 1

- (1) 「何か書くものがあるのだけれど」「鉛筆ならあるわ」
“I need something to write with.” “I (a / have / pencil).”

- (2) 「彼は空腹だと言った」
He (he / said / that / was) hungry.

- (3) 「会社は倒産した」
The (bankrupt / company / went).

- (4) 「彼のふるまいにはどこか奇妙なところがある」
There is (about / behavior / his / something strange).

- (5) 「事故はだれにも起こり得る」
Accidents (anyone / can / happen / to).

Day 1

(1) “I need something to write with.” “I **have a pencil.**”

「何か書くものがあるのだけれど」「鉛筆ならあるわ」

🐼 have 圃 「～を持っている」(have-had-had)

have は〈物を持っている〉⇒〈状態・状況を持っている〉イメージです。We had a lot of snow this winter. 「今年は雪が多かった」。He had an accident. 「彼は事故にあった」。

🐼 need 圃 「～を必要とする」 something 罎 「何か」 pencil 罎 「鉛筆」

🐼 I have a pencil. は第3文型 SVO の文です(本編第3講)。SVO の基本訳は「S は O を V する」です。to write with は不定詞の形容詞的用法です(本編第13講)。

(2) He **said that he was** hungry.

「彼は空腹だと言った」

🐼 say 圃 「～と言う」(say-said-said)

say は〈思考・情報をことばにして発する〉イメージです。This book says there will be another oil crisis before long. 「この本には、近いうちにオイルショックがまた起こるであろうと書いてある」。

🐼 hungry 罎 「空腹の」

🐼 that SV「SがVすること」の that は名詞節を導く接続詞です(本編第20講)。that he was hungry が動詞 said の目的語になっています(thatは省略可)。

(3) The **company went bankrupt.**

「会社は倒産した」

🐼 go 圃 「(SVCで)Cになってしまう」(go-went-gone)

go は〈話し手の目から離れる方向にどんどん移動していく〉イメージです。The meeting is going well at the moment. 「会議は今のところうまく進んでいます」。go と対照的なのが come です。

🐼 company 罎 「会社」 bankrupt 罎 「破産した」

🐼 SV+形容詞は第2文型 SVC です(本編第2講)。SVC の基本訳は「SはCである」(be系)と「SはCになる」(become系)で、ここでの go は後者です。

(4) There is **something strange about his behavior.**

「彼のふるまいにはどこか奇妙なところがある」

🐼 about 罟 「～について、～の周りに」

about は〈対象の周辺・周囲を取り巻く〉イメージです。It's about five o'clock.

「5 時頃だ」は〈5 時のあたり〉を表します。I know nothing about him. 「彼については何も知りません」。

🐼 strange 罟 「奇妙な」 behavior 罟 「ふるまい」

🐼 there is A で「A がある」(there is 構文と呼ばれます)。先頭の there は本来「そこに、そこで」という意味の副詞ですが、この構文では訳しません。

(5) Accidents **can happen to anyone.**

「事故はだれにも起こり得る」

🐼 can 罟 「～できる、～する可能性がある」

can は〈能力、許可〉と〈可能性〉のイメージです。Can I use the bathroom? 「トイレをお借りできますか」。Sometimes even the best protection can fail. 「最善の防御をしても時に失敗することがある」。

🐼 accident 罟 「事故」 happen 罟 「起こる」 anyone 罟 「(肯定文で)だれでも」

🐼 前置詞句(前置詞+名詞のかたまり)は修飾語で、形容詞句か副詞句になります(本編第 11 講)。ここでの to anyone は副詞句です。

<入試問題で確認！>

(1) We don't have enough time to take up that problem now.

(桜花学園大)

(2) Employees said that they would prefer more flexible working hours.

(中央大)

(3) From where I am sitting I cannot see what is going on.

(神戸松蔭女子学院大)

(4) A legend is an old story about famous people and events in the past.

(愛知学院大)

(5) Excessive drinking can ruin one's health.

(いわき明星大)